

株主・ステークホルダーの皆様へ

この度は、**10月25日**に発表した当期の上半期業績予想修正に伴い、皆様に大変ご心配をおかけしております。この場を持ちまして、その背景と今後の方向性をご説明申し上げます。

今回の修正で、中間期の売上高については当初予想の377百万円から339百万円へ、同じく経常利益について▲8百万円から▲46百万円へと変更いたしました。この主な要因は、交通関連事業のサービス「JRトラベルナビゲータ」において、当社予想よりダイヤ改正が少なかったこと等により、新規開発が予想を下回り、売上高および売上総利益が減少したためです。これに対し、次世代インフラ分野で当初の予想を上回る伸びを見せておりますが、売上高・売上総利益の減少を補うまでには至りませんでした。

これを受けた下半期のアクションとして、「モニタリング倶楽部」、地図情報活用サービス「**b-walker**」の販売強化や、無線LANコンテンツ配信システム「**AirCompass**」の横展開に取り組んで参ります。具体的に説明させていただきますと、まずPHS/GPS位置情報連携サービスである「**b-walker**」については、SFA（セールス・フォース・オートメーション）などの業務管理システムとしての活用など、法人での用途を拡大し対象顧客を広げるため、製品に更に付加価値をつけていきます。これについては、企業側の潜在ニーズも大きく、すでに幾つかお話をいただいております。「モニタリング倶楽部」も、飲食店や駐車場、学校などといった法人向けの展開を加速させます。「**AirCompass**」については、通信キャリア、ISPなどへの横展開に向けて着実に推進しておりますが、更にサービス提供対象を拡大していきます。

これらに基づく通期の業績については、売上高は当初予想の741百万から788百万へ、同じく経常利益については当初予想通りの0百万としました。今年度の目標である、損益イーブンの達成に向け、より一層の努力をもって事業に取り組んでいく所存です。

以上、株主・ステークホルダーの皆様には引き続きご支援・ご鞭撻の程をお願い申し上げます。

2004年10月25日

株式会社ビーマップ  
代表取締役社長  
杉野 文則